

平成24年度上下水道部下水道課執行目標達成状況表

番号	執行目標項目及びその内容	目標とする指標 (具体的な数値・内容)	達成 状況	達成済の結果及び未達成の場合はその理由と取組のプロセス
1	<p><b>汚水処理施設整備基本構想の策定</b></p> <p>瓶原は関係者と調整し、統一した汚水処理の方針を決定する。</p>	平成24年度内に方針決定を行う。	△	<p>瓶原地域は11月に地域役員との協議（説明会）を行い、合併処理浄化槽事業について区役員全員に了解を得た。</p> <p>その後、地域の取組みとして、アンケート調査を実施したが、浄化槽事業が過半数に達しないことから、地域として方向性が出せない状況であるが、公共下水道事業への住民の思いは低下したと史料している。</p> <p>今後も、地域住民に合併浄化槽事業について、理解を得られるよう役員と協議していく。</p> <p>また、木津地域（鹿背山・梅谷）は再度地域長に基本構想（案）の説明を行う予定であったが、他事業との調整事項が多く住民への説明は時期尚早との返答であった。</p>
2	<p><b>水洗化率向上の取組み</b></p> <p>未接続世帯の実態調査及び普及促進活動を行う。</p>	既成市街地の水洗化率（処理区域内人口に占める水洗化人口）の割合（平成23年度85.8%）を87.0%（平成24年度末）まで引き上げる。	○	<p>山城地域はアンケート調査を実施したが、アンケートの回収率が20%程度であり、さほど効果が無かったこと或いは水洗化意識の向上も図られたとは感じられなかったことから、加茂地域のアンケート調査実施を一旦保留した。</p> <p>また、木津地域は相楽・吐師を中心に個別訪問で水洗化を促進すると共に、無断接続（5件）を摘発した。</p> <p>なお、水洗化率は、木津地域で1.3%向上したものの、人口減少等で、加茂地域で0.4%・山城地域△0.5%の微増減となった。</p>

※達成状況の欄は、目標以上に達成した場合は◎、目標どおり概ね達成した場合は○、目標が未達成の場合は△を記入すること。